

図書館へようこそ！ ～まず、明学図書館で探そう～

図書館ではみなさんの学びに必要な資料を収集しています。まずは大学図書館の資料を利用しましょう。
図書・AV 資料はジャンル(テーマ)ごとに並んでいます。

＜芸術・映像芸術関係＞

700 芸術・美学 778 映画 778.21 日本映画史 778.22 アジア映画史 778.3 映画監督・俳優
778.4 映画製作及び演出、撮影技法 778.7 ドキュメンタリー 778.77 アニメーション

◆参考図書

読書のためではなく、調べるための図書です。言葉の定義を調べたり、特定の事項や事実の確認をするときに使います。
本の背に「館内」という赤いラベルが貼ってあるものは館内利用になります。

■辞書・事典

テーマの概要を知るために使しましょう。事典では事象、事件、人物、著作や国など事柄の全体像や要点がわかり、
理解を深められます。さらに専門事典をあたれば、その分野において、その用語や概念がどういう意味を持つのか、
背景や歴史を含めて解説しています。配架場所は主に 5F 参考図書コーナーです。



『日本美術史事典』『フィルム・スタディーズ事典』『世界映画大事典』『20 世紀アメリカ大事典』『アニメ作品事典』
『Encyclopedia』『映画年表』『映画・音楽・芸能の本全情報』『映画の賞事典』『映画賞受賞作品事典(洋画編)』

■白書、年鑑、調査統計

基本的に毎年新しいものが刊行されます。レポートなどで数値的な裏付けが必要な場合もあります。説得力を増すためにも、公的調
査結果などを活用しましょう。配架場所は OPAC (図書館蔵書検索システム) で確認しましょう。

『日本国勢図会: 日本がわかるデータブック』『世界国勢図会: 世界がわかるデータブック』『世界の統計』
『映画年鑑』『映画映像産業ビジネス白書』『デジタルコンテンツ白書』『出版年鑑』

■データベース「JapanKnowledge Lib」(ジャパナレッジ リブ)

大学生にとって基本となる辞書・事典データベース。30 以上のコンテンツの横断検索ができます。収録内容は随時更新、関連項目へ
のリンクや参考文献リストなど便利機能が満載です。

＜アクセス＞ 図書館ウェブサイト > 蔵書・情報検索 > 目的別・分野別・A-Z
MyLibrary > サブジェクトゲートウェイ > 目的別・分野別・A-Z

情報センターに SSL-VPN
申請すれば、自宅からでも
アクセスできます。

◆一般図書 [3F/4F 和書一般・6F/7F 洋書一般]

学習に必要な一般的な図書で館外貸出利用ができます。配架場所が「B2」「北」となっている資料は地下の閉架書庫に
ありますので、カウンターへ請求してください。横浜図書館と違い、地下書庫へは学生の方は入れません。

■授業関連図書

教員が授業の参考に読むように指定した本です。白金では 2F にコーナーがあります。OPAC の授業関連図書リストを見ると、教員がど
の授業で何の本を指定しているか一覧で確認できます。コーナーの本は貸出できませんが同じ本が一般書架にあれば借りられます。

◆AV 資料 * 館内利用 [2F ハイブリッド AV コーナー]

CD、DVD、ビデオなどの音声や映像資料です。ハイブリッド AV コーナーで視聴できます。

◆雑誌 * 館内利用 [5F 和雑誌・6F 洋雑誌 K-Z・7F 洋雑誌 A-J]

雑誌名のアルファベット順に並べています(週刊や月刊などの刊行頻度は外す)。前年以前に発行されたバックナンバ
ーは 5～7 階のバックナンバー架または地下書庫にあります。雑誌名には必ずしもその分野に関する単語が入っている
わけではありません。雑誌を探すときは、図書館の雑誌の書架を直接目で見て探す方法も試してみてください。下記は
白金にある芸術学関係の主な雑誌です。

『アサヒカメラ』『映像学』『BT:美術手帖』『ダンスワーク』『キネマ旬報』『シナリオ』
『シアターアーツ』『芸術新潮』『テアトロ』『明治学院大学芸術学研究』

■学術雑誌

雑誌の中でも学術論文が掲載されるものを「学術雑誌」といいます。大学では学術雑誌の利用が必要です。ある問題を論じる際には、
それまでに論じられた文献＝先行研究を押さえることが、問題の整理や自分の主張の説得力につながるからです。学術論文は一定の
ルールで執筆されるので、レポートや論文を書く際に構成や参考文献の記載などの体裁を参考にすることもできます。大学や研究機
関が発行する「紀要」も学術雑誌に含まれます。